



SSHレターズ

長崎県立大村高等学校
～自ら気づき、考え、行動する～

1 巻/25号 2020/6/30

2年数理探究科・普通科： 課題探究、始動！

2年1～7組の課題探究活動が始まりました。昨年度のミニ課題探究の経験を活かし、ステップアップした探究活動を目指しながら、来年度の発表会まで探究を深めていきます。テーマ設定にあたっては、担当の先生方約20名が、自身の専門領域の中から、生徒のテーマ設定のヒントとなるような題材をプレゼンする企画を実施しました。生徒たちは、食い入るように話に耳を傾け、熱心にメモをとっていました。企画終了後には、「おもしろい話がいっぱい聞けて、ワクワクしてきました！」と目を輝かせる生徒が多くいました。

その後、生徒たちはグループを組み、探究テーマを設定して、現在は探究計画を立てるところです。自分たちの探究の意義を考えたり、より質の高い仮説を設定するなど、試行錯誤しながら頑張っています。



◆家政科(2年):生物セミナー

6月12日(金)、昨年度に引き続き今年度も長崎女子短期大学 教授の松尾 公則 先生をお招きし、生物セミナーを開催しました。先生は、環境保全活動の普及啓発への貢献により、令和2年度の環境大臣表彰を受賞されました。当日は、カエルを題材として、生物の多様性やその保全の大切さについての講義やヒキガエルの捕食行動の観察、実際の触れ合い体験など、盛りだくさんの内容を実施していただきました。

最初の頃はカエルから逃げ回るようにしていた生徒たちも、最後の方にはかなりの数の生徒がカエルに触れることができるようになりました。今回の研修を通じ、生徒たちの生物や自然についての興味関心や多様性についての理解が深まりました。



3年数理探究科:課題研究校内発表会

5月28日(木)、3年数理探究科が課題研究発表会を行いました。数理探究科3年生は、1年次から、理数関係の研修に加え、プレゼンや英語の講座等も受講し、専門性を高めてきました。今回は、それぞれのグループが1年間継続してきた研究内容を発表し、審査員と理科職員による審査が行われました。新型コロナウイルス感染防止のため保護者や他学年の参加はできませんでしたが、各グループが緊張した面持ちながらも立派に発表を行い、発表後の質疑応答も充実したものとなっていました。審査の結果選ばれた2グループが、本校代表として長崎県理数科高校課題研究発表会VTR審査会に推薦されます。



発表テーマ

『圧電素子を使った音による発電』

『陸上植物の耐塩性』

『海水を用いた水耕栽培』

『廃材を用いた水質浄化』

『オオキンケイギクの発芽条件』

『2球の引き寄せの力』

『音声可視化』

『サワガニは水の場所がわかるのか』

『海水の干満による玖島川支流における水面変化の測定と考察』